

Point

人間の尊厳と自立

日付

1

# 人間の尊厳と自立を理解しよう



難出度

低 中 高

重要キーワード

- 人間の尊厳
- 自立
- 自律
- エリザベス救貧法
- ゆりかごから墓場まで
- 高齢者虐待
- 日本国憲法
- 世界人権宣言

## 暗記しよう！ 要点解説

### ●人間の尊厳

- 人間の尊厳とは、ひとりひとりの人間が尊く厳かで侵してはならない**価値ある存在**として尊重されることです。
- 心身の障害がある人々が、自分自身をコントロールしながら日常生活を営むことを**自立**といます。また、**他者に依存しながらも**自らが意思決定(自己決定)をして生活することも含まれます。
- 自律**は自立の前提となるもので、自分で立てた規範に従い、自分で自分をコントロールするという心の働きをいいます。
- 寝たきりや認知症になっても、生活を**自分の意思でコントロール**できるように援助することが大切です。

### ●欧米における人権と社会保障の歴史

- 1601年 **エリザベス救貧法再編(イギリス)**
- 1776年 独立宣言採択(アメリカ) すべての人間は平等につくられている
- 1789年 人権宣言採択(フランス) 人は生まれながらにして自由かつ平等の権利を有する
- 1834年 新救貧法成立(イギリス)
- 1869年 **慈善組織協会設立(イギリス・ロンドン)**
- 1877年 慈善組織協会設立(アメリカ) M.リッチモンドがケースワークを体系化する
- 1884年 S.パーネット夫妻による**トインビーホール開設(イギリス・ロンドン) 最初のセツルメント**
- 1919年 ワイマール憲法制定(ドイツ) 初めて生存権を規定
- 1935年 **社会保障法制定(アメリカ)**
- 1942年 **ベヴァリッジ報告(イギリス) ゆりかごから墓場まで**
- 1946年 **日本国憲法公布**
- 1948年 **世界人権宣言採択**

## 図解で覚える！

### ●養護者による高齢者虐待に関する調査結果

・養護者の高齢者との続柄



・虐待が起こる世帯の構成



※「平成23年度 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応状況等に関する調査結果」(厚生労働省)より

## 書いて覚える！

### ●独立宣言、人権宣言、ワイマール憲法

[①] 年のアメリカの独立宣言と [②] 年のフランスの人権宣言での生命、自由、平等、[③] の人権思想は、今日の人権思想の源流といえる。世界で初めて [④] 権を憲法に掲げたのは [⑤] 年のドイツのワイマール憲法である。

### ●日本国憲法と生存権

日本で初めて生存権思想に基づく人権について掲げたのは、[⑥] 年公布の日本国憲法で、憲法第25条には生存権が規定されている。また、人間の [⑦] と自立に関する思想は、日本国憲法の理念として掲げられている。

### ●世界人権宣言

[⑧] 年の世界人権宣言は、「[⑨] の人は、社会の一員として社会保障を受ける権利を有し(以下略)」と謳っている。この宣言自体には、何ら法的拘束力はないが、近代人権宣言の集約であり、いわば人類憲法の前文として歴史的 position を占める。

### 解答

図解で覚える！ ① 息子 ② 夫 ③ 娘 ④ 未婚 ⑤ 既婚 ⑥ 夫婦

書いて覚える！ ① 1776 ② 1789 ③ 幸福追求 ④ 生存 ⑤ 1919 ⑥ 1946 ⑦ 尊厳 ⑧ 1948 ⑨ すべて